

事業所名	児童発達支援事業所 ぶりんぐ音更		公表日	2026年3月6日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・設置基準を満たしております。 ・課題室ではお子様が二人までの同室になるよう、調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・配置基準を満たしております。 ・個別療育の為、お子様一人に担当職員が一人ついています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・TEACCHの理論ものと事業所内の構造化を行っております。また、バリアフリー、玄関スロープを備えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・事業所内外の清掃、環境整備に取り組んでいます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・療育中必要に応じて使用できる個室を用意しており、柔軟に活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・療育記録、支援計画等を職員間で共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年に一度事業所アンケートを実施し、内容をその後の業務に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・定期的に所長と職員との面談を実施し、内容を業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・そのような機会が今までなかったため、必要に応じて検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・定期的に法人内で学習会を実施し、スタッフの知識向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・お子様や保護者様の願いのもと長期目標を策定し、支援内容を設定しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・担当職員と児童発達支援管理責任者が連携し、支援計画を策定しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・定期的に支援計画のモニタリングを行い、支援内容を調整しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・発達段階表の活用や、日常生活の様子聞き取り、適切な間隔を空けての心理検査により、お子様の状況を把握しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・各項目に応じて支援内容を設定しています。また、定期的にモニタリングを行い、内容を調整しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・ミーティングや担当間で話し合い、活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・お子様の状況に応じて、課題の量や内容を調整しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・主に個別活動が中心ですが、遊びの時間・グループ活動などを通して他児との交流を設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・午前、午後の全体ミーティングと、支援前の担当間で話し合いにて、連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	・支援終了後にお子様の成長や今後の課題について話し合い、職員間で共有しています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・支援終了毎に療育記録を作成し、児童発達支援管理責任者が確認しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・約半年ごとに支援計画を更新し、モニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		・お子様の意見を取り入れつつ、自立支援及び遊びや制作、簡単なゲーム等を実施しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・必要に応じて、課題の量や内容をお子様を選択できる機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・主に児童発達支援管理責任者、必要に応じて担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・ケア会議や電話連絡にて、必要に応じて各関係機関と情報共有を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	1	4	・送迎を実施していないこともあり、日々の連絡調整は行っていませんが、必要に応じて情報を共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		・今までそのような機会はありませんでした。必要に応じて相互連携に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・原則小学3年生までが対象のため、そのような機会はありませんでした。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	・発達支援センターが主催する研修を、必要に応じて受講しました。	・個別に直接指導を受ける機会はなかったため、今後は必要に応じて検討いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		・事業所内での活動が主であり、そのような機会は設定しておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・今年度は北十勝ネットワーク会議に児童発達支援管理責任者が参加しました。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎回の保護者面談や担当スタッフからの課題説明時にお子様の状況について報告し合い、職員保護者間で情報を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・保護者面談や療育見学を通して、お子様との適切な関わり方を助言しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・初回利用の際の契約確認時に、児童発達支援管理責任者より説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・お子様や保護者様の願いをもとに、支援計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・面談時に児童発達支援管理責任者より支援内容を説明し、保護者様の意向を確認しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・保護者面談や担当スタッフからの課題説明時に、適宜対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5		・保護者様からの要望があれば検討いたします。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談や申し入れがあった場合は、保護者面談時に対応いたします。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・年3回お便りを発行し、ホームページやアプリにて公表しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いについては十分に留意しています。また、面談は完全個室にて対応しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・必要に応じて絵カードやPECSを活用し、円滑にコミュニケーションが図れるよう対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・事務所では行事を主催していない為、そのような機会は設けておりません。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルは面談室にて保護者様に閲覧して頂けるよう備えています。また、対処方法を職員間で共有しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・BCPは策定済みです。また、災害訓練、避難訓練等の訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・保護者様にフェイスシートの記入をお願いし、面談の際に細かい留意点を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5		・食品提供は行っていないため、医師の指示書の確認が必要な場面はありませんでした。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画は策定済みです。研修や設備点検等にも適宜取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・保護者様同件のご利用の為、必要な報告についてはその都度周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	・必要に応じて、ヒヤリハットの事例報告と再発防止に向けての話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に職員が虐待防止研修に参加し、内容を全体で共有しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・ご本人や周囲への危害が及ぶ場合は職員が抱える等で阻止することがあり、その旨は説明後に支援計画に記載しています。	